

熊本地震からの創造的復興への「軌跡」

～全国のNN技術職員の皆様へ 感謝の気持ちを込めて～

第3号 H29.12.27 発行

復旧進捗状況

11月末現在の件数とその割合

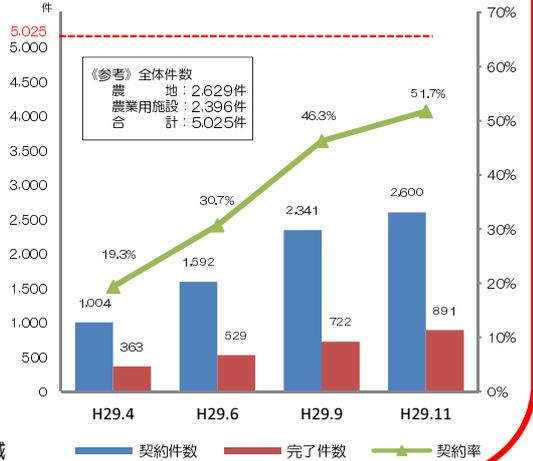
	復旧予定 件数	契約済み		工事完了	
		件数	契約率	件数	完了率
県営災害 計	185※ ¹	140	75.7%	7	3.8%
農地	66	49	74.2%	0	0.0%
農業用施設	119	91	76.5%	7	5.9%
団体営災害 計	4,840※ ²	2,460	50.8%	884	18.3%
農地	2,563	1,216	47.4%	386	15.1%
農業用施設	2,277	1,244	54.6%	498	21.9%
県営+団体営 計	5,025	2,600	51.7%	891	17.7%

※1 県営災害は大切畑ダム（ため池）を除いたことによる1件減

※2 団体営災害は国道バイパス工事等による廃工が発生し167件（農地：157件、施設：10件）減

災害復旧工事完了件数及び契約件数の推移

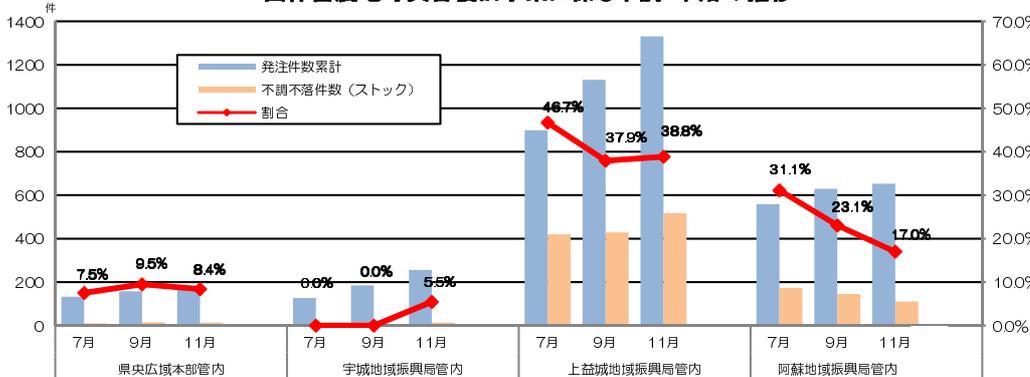
11月末現在の件数（県営+団体営）



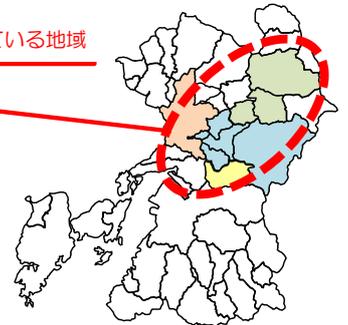
～復旧に向けた課題～

◆工事発注の現状

団体営農地等災害復旧事業に係る不調・不落の推移



被害が集中している地域



- 県央広域本部管内（熊本市）
- 宇城地域振興局管内（美里町）
- 上益城地域振興局管内（御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町）
- 阿蘇地域振興局管内（阿蘇市、南阿蘇村、西原村）

※農地等災害復旧事業に特化した不調・不落件数調査は平成29年7月から開始

※上記グラフは右記の市町村を対象とし、査定件数の約82%を占めている。

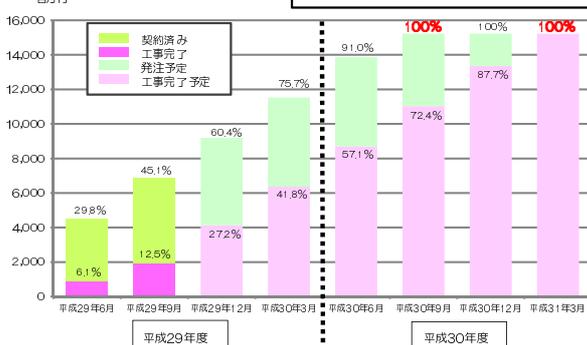
※右記市町村における11月の不調・不落率は**27.3%**（7月：35.2%、9月：28.0%）

〈今後の目指すべき姿〉

●団体営災害復旧事業

※金額ベース

発注完了（予定）⇒平成30年9月末
復旧完了（予定）⇒平成31年3月末



- 農地・農業用施設の復旧工事の契約率については、11月末時点で50%を超えたところ。
- 平成30年度内の完了を目指しているが、現在、入札の不調・不落も発生するなど課題が出てきている。
- このようなことから、工事の着実な執行を図るため、復興歩掛り等の改定を国へ要望するとともに、入札制度の見直し等の対策に引き続き取り組み、**『平成30年度までに営農再開100%』**に向け全力で取り組んでいきます。

3. 新たな支援の形、役目を終えた『水門巻上機』が熊本の地で再び始動



- 相模川左岸土地改良区（神奈川県）から機器の更新（防災対策に伴う巻上機の自動化）に伴い不要となった水門巻上機を『熊本地震からの復旧に活用して欲しい』という提案を受け、石塘堰樋土地改良区が譲り受け、平成29年12月15日に取り付け工事が完了しました。
- これにより、石塘堰樋土地改良区は復旧費用を大幅に軽減することができました。
- 一度は役目を終えた巻上機が熊本で息を吹き返し、これから本地域の農業を支えていくことでしょう。



石塘堰樋土地改良区
理事長 岩本 司

熊本地震により被災した当施設は、多面的機能支払を活用し、一次は稼働させましたが、本年度に入り動かなくなり、部品交換又は更新を検討していました。

そうした中、相模川左岸土地改良区からこのようなありがたい話を頂きました。また、関連企業（愛知時計電機（株）、（株）ミゾタ）に全面協力（整備費、輸送費を負担）をいただき、この度無事復旧させることが出来ました。

御提供頂いた相模川左岸土地改良区、神奈川県土連、熊本県土連、及び関連企業の支援・協力にこの場を借りて感謝申し上げます。

～派遣職員からのたより～

県央広域本部農地整備課（熊本市）に派遣いただいている2名の職員の担当業務を紹介します。

>氏名

小嶋 直樹 主任技師

>派遣元所属

長崎県島原振興局 農林水産部 土地改良課

>現在の業務について

県営農地等災害復旧事業にかかる工事発注・現場監督、及び計画変更等事務手続き関係等。

>熊本県での生活（住環境）について

現在、事務所まで自転車で15分程度かけて通勤しています。住居は駅にも中心街にも近く、路面電車の通りまで5分という場所で、間取りは11畳と3.5畳が合わさった1フロアで冷暖房や一通りの家電は用意していただいております。特に不便の無い“華の单身生活”を過ごしています。

>今後派遣で熊本県に来る方へのコメント

今回の派遣により災害復興業務はもとより、熊本県の職員、他県からの派遣職員の方々との繋がりもできるのではないかと思います。また、職場では、まわりの方に支えていただき不自由なく働かせていただいております。熊本県の農地復興はこれからです、力を合わせて頑張りましょう！



>氏名

高木 城二 参事

>派遣元所属

鹿児島県 農政部 農地整備課

>現在の業務について

県営農地等災害復旧事業にかかる工事発注・現場監督、及び計画変更等事務手続き関係等。

>熊本県での生活（住環境）について

職場も住居も繁華街に近く、日々都会的な充実した生活を送っており、また間取りも広く一人暮らしで持て余しています。以前、種子島での单身生活では自炊をしていましたが、こちらではもっぱら外食ばかりです。熊本の“うまかもん”を食べつくそうと思っています。

>今後派遣で熊本県に来る方へのコメント

農業土木技術者として熊本地震に復興に携われ、貴重な経験を得ることができます。復旧・復興のために頑張りましょう。



写真右 高木参事

～ 広 報 ～

1. 『2017ため池フォーラム inくまもと』を無事に開催



開催日：平成29年10月19日（木）、20日（金）

テーマ：熊本地震からの復旧・復興

～誇れる資産（たから）を次世代につなぐ～

参加者：400名（国、都道府県、市町村、土地改良区職員等）

来賓には、農林水産省農村振興局整備部防災課笹川敬課長、全国ため池整備事業推進協議会副会長進藤金日子参議院議員など多数ご出席いただき、あいさつ賜りました。

その他、本会議では熊本地震の取り組み等に関する事例発表を行い、翌日には甚大な被害が発生した『**大切畑ダム（ため池）**』等で現地見学会を開催しました。

2. 第1回『平成28年熊本地震からの復旧・復興の集い』を開催



開催日：平成29年10月18日（水）

目的：発災直後から復旧・復興にご尽力頂いた技術者に対する復旧状況報告

参加者：96名（派遣職員（県、土地改良事業団体連合会）等）

激動の1年半を共にした「チーム熊本」のメンバーを一同に介した『**復興の集い**』を初開催。

全国各地から参加いただき、これから本格化する復旧・復興に対し、激励のお言葉を多数頂きました。

今後も、同様の集いを計画して参りますので、本県の復旧・復興を引き続きご支援いただくと共に、その取り組みを肌で感じていただく機会として、是非参加いただきますよう、よろしくお願ひします。

3. 『熊本地震からの復旧・創造的復興のあゆみパネル展』を開催



消費者の部屋（農林水産省）
平成29年8月14日～18日



全国土地改良大会 静岡大会
平成29年10月25日（水）



2017くまもと農業フェア
平成29年11月18日（土）、19日（日）



県民交流会館パレア パネル展
平成29年11月20日～12月5日

来年度以降、派遣元道府県を中心にパネルのリレー展も計画しておりますのでご協力お願いします。

問い合わせ先

熊本県 農林水産部 農村振興局 農村計画課 農村企画班

TEL : 096-333-2468

Mail : nousonkeikaku@pref.kumamoto.lg.jp